

船舶事故等調査報告書

平成21年3月26日
運輸安全委員会(海事専門部会)議決

事故等番号	2008横第13号	
事故等名	モーターボートギャングⅡ乗揚	
発生年月日	平成20年7月20日21時30分ごろ	
発生場所	横浜外防波堤南灯台から真方位206° 100m (北緯35° 27' 12" 東経139° 40' 24")	
事故等調査の経過	調査の概要:平成21年1月9日 横浜・地方事故調査官が船長に事故概要等について電話聴取 原因関係者からの意見聴取:意見なし	
事実情報	船種・船名・総トン数 モーターボート ギャングⅡ 6.66m 船舶番号(IMO 番号) 230-44607 船舶所有者等 個人所有	
船種・船名・総トン数 船舶番号(IMO 番号) 船舶所有者等		
乗組員等に関する情報	船長 一級小型船舶操縦士	
負傷者	船長 顔面負傷(2日間通院)	
損傷	船首船底に長さ60cm、幅20cmの破口及びFRP剥離	
事故等の経過	本船は、船長が知人3人を同乗させ、横浜港内の大棧橋沖で花火見物を行った後、同地点を発進し、大棧橋に係留中の客船及び山下公園などを見物したのち、係留地の千葉県木更津港に向けて帰港中、平成20年7月20日21時30分ごろ、本牧ふ頭A突堤側にある横浜港外防波堤の切り通し部付近で入航する他船を避けた際に、同切り通し部付近の防波堤潜堤部に乗り揚げた。	
分析	気象・海象の関与 なし 乗組員等の関与 あり 船体・機関等の関与 なし 判明した事項の解析 横浜港外防波堤の切り通し部には、本牧ふ頭A突堤側の同防波堤先端部に標識灯が設置されていることから、本船は、切り通し部への接近状況の確認を十分に行わなかった可能性があると考えられる。	
原因	本事故は、本船が、横浜港外防波堤の切り通し部への接近状況の確認を十分に行わなかったため、浅所に乗り揚げたことにより発生した可能性があると考えられる。	
その他の事項	なし	